

日本食肉加工情報

毎月1回発行

5

2026 MAY

No.911

CONTENTS

●特集

海外食肉加工品生産・流通等実態調査報告(韓国)概要

●窓

第124回 株式会社ナンチク

代表取締役社長 南 喜一

「チャレンジし続ける文化を、次世代へ継承する」

●業界をめぐる動き

- ・4月役員会の開催について
- ・支部だより ～北越支部だより～
- ・「第51回FOODEX JAPAN 2026・第50回2026食肉産業展」開催
- ・「2026オールジャパン商品商談会」への出展報告
(日本畜産物輸出促進協会・食肉加工品輸出協議会)
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #125

●ひろば

第119回 株式会社小林食品

●海外情報

EU 26年1月の豚枝肉卸売価格、前年同月をかなり大きく下回る



SPECIAL
EDITION

特集

内容をちよっと読み



海外食肉加工品生産・流通等実態調査報告(韓国)概要

令和7年度国産食肉加工品国際競争力強化等対策事業(JRA畜産振興事業)の一環として、2025年10月20日(月)～10月24日(金)の日程で韓国現地調査を実施しましたので、本稿を借りて、主な訪問先の概要を報告いたします。

1. 韓国現地調査概要

現地調査については6名の調査員にて実施した。調査団のメンバーは下表の通り(○は団長、敬称略)。

2. 食肉・食肉加工品の需給動向

(1) 主要食肉の供給量

韓国の畜産は、牛・豚・鶏を中心に多様な畜種で構成され

ており、2023年の畜産業全体の生産額は約242.2兆ウォン(約22兆円)、中でも牛関連(韓牛、肉牛、乳牛)は総額185.1兆ウォン(約16.8兆円)と高い比重を占めている。

飼養頭数(2023年末時点)は、韓牛約364.8万頭、乳牛38.7万頭、豚1,108.9万頭、肉用鶏は1億8,212.7万羽、アヒル653.8万羽、卵用鶏(産卵鶏)2,710万羽となっている。

韓国の主要食肉の供給量は、2022年以降やや増加しており、2024年の食肉供給量は3,154千トン。内訳は、豚肉が全体の50.3%と半分を占め、残りは鶏肉25.4%、牛肉24.3%となっている。(表3、P4:図1参照)

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL: 03-3444-1211 FAX: 03-3441-8287 E-mail: ask@hamukumi.or.jp